

県内景況·確報

◎概況 県内景況は、拡大している

県内景況 個人消費 建設関連 観光関連 生産動向 企業倒産 雇用状況 やや良い 良い やや良い ふつう やや良い 良い

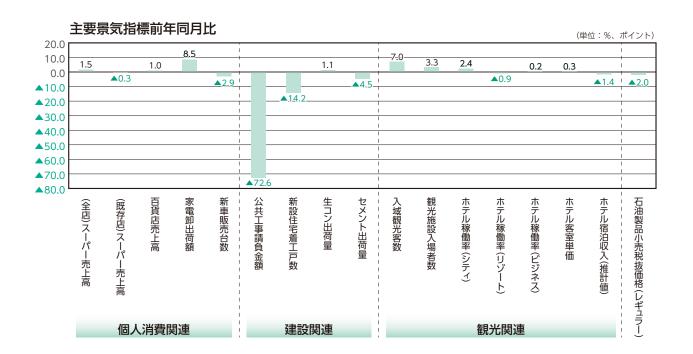
1月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベースは前年同月を上回り、既存店ベースは前年同月を下回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、前年同月を上回りました。新車販売台数は、前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は、国や市町村などによる発注工事の減少などで前年同月を下回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を下回り、建設資材である生コンは前年同月を上回り、セメントは下回りました。

観光関連では、入域観光客数は4ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、ビジネスホテルが前年同月を上回り、リゾートホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)は下回りました。

このような状況に鑑みて、<u>個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連では堅調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している</u>」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から60ヵ月連続で判断維持)



個人消費〉

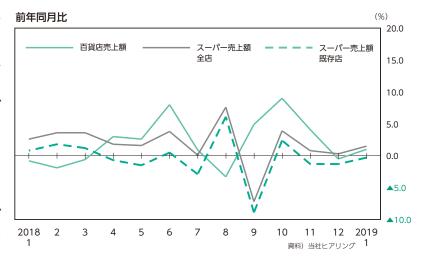


(やや良い)

1 スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベースは前年同月を上回り、既存店ベースは前年同月を下回る。 百貨店売上高は前年同月を上回る。

1月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月 比1.5%増)」は、新規出店効果などにより、「食料品(同1.6%増)」、「家庭用品(同2.4%増)」の売上が伸び、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。

「既存店べース(同0.3%減)」は、前年に比べ気温が高く推移したことなどから、冬物商材を中心に売上が伸び悩み、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。品目別では、ウェイ

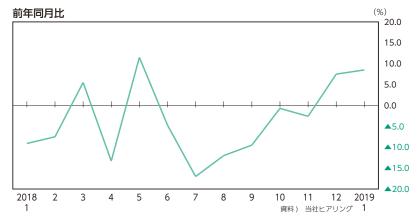


トの高い「食料品(同0.5%減)」は、鍋物関連の商材の売上が伸びず、前年同月を下回りました。「衣料品(同3.7%減)」は、前年に比べ気温が高く推移した影響などから、冬物商材を中心に売上が伸びず、前年同月を下回りました。一方、「家庭用品(同1.1%増)」は、化粧品や、テレビ、エアコンなど家電の売上が伸び、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました(同1.0%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同6.0%減)」は、販促企画を開催するも、前年に比べ気温が高く推移したことにより「紳士服(同3.7%減)」、「婦人服(同6.3%減)」「子供服(10.9%減)」などで冬物商材の売上が伸び悩み、前年同月を下回りました。靴、バッグなどの「身の回り品(同15.9%減)」は、売り場面積が縮小したことなどから売上が減少し、前年同月を下回りました。一方、「食料品(同10.0%増)」は、物産展を新規開催したことにより売上が伸び、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同11.5%増)」は、売り場のリニューアル効果などにより、前年同月を上回りました。

(2) 家電卸出荷額…家電卸出荷額は2ヵ月連続で前年同月を上回る。

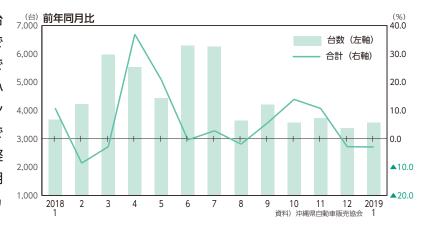
家電卸出荷額は、冷蔵庫、VTRなどの売上が伸び、2ヵ月連続で前年同月を上回りました(同8.5%増)。品目別では、「テレビ(同0.2%減)」は、高価格帯商品の売上が伸び悩み、前年同月を下回りました。「洗濯機(同9.2%減)」、「エアコン(同6.1%減)」は買い替え需要が低調だったことから、前年同月を下回りました。一方、「冷蔵庫(同12.1%増)」は、



省エネタイプや大型タイプの買い替え需要が好調に推移し、前年同月を上回りました。 また、「VTR(同35.7%増)」は、4Kチューナー内蔵型の録画機が好調に推移し前年同月を上回りました。

3 新車販売台数…新車販売台数は、2ヵ月連続で前年同月を下回る。

新車販売台数は、全体で3,575台 (同2.9%減)となり、2ヵ月連続で 前年同月を下回りました。車種別で は、「普通乗用車(同18.5%減)」、「小 型乗用車(同3.8%減)」は、レン タカー需要が減少し、2ヵ月連続で 前年同月を下回りました。一方、「軽 乗用車(同4.5%増)」は、自家用 車需要が好調だったことから、5ヵ 月連続で前年同月を上回りました。



※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

建設関連〉

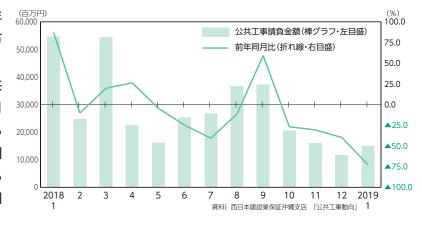


(良い)

1 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

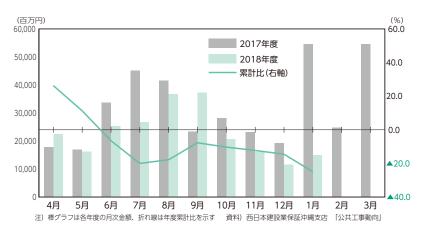
1月の公共工事請負金額は、前年 同月比72.6%減の149億4,400万 円となりました(4ヵ月連続減)。

発注者別でみると、「その他の公共 的団体(同368.3%増)」は前年同月 を上回りましたが、「国(同87.0% 減)」のほか、「独立行政法人等(同 8.9%減)」や「沖縄県(同30.8% 減)」、「市町村(同34.6%減)」は下回 りました。



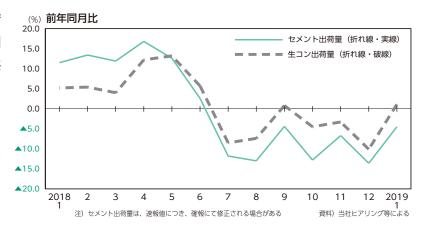
【参考】公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を下回る。

今年度累計値では、24.9%減と なっています。(右記折れ線グラフ)



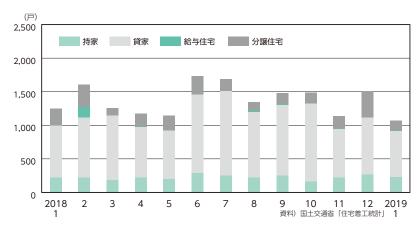
② 建設資材…生コンは前年同月を上回り、セメントは下回る。

建設資材関連では、生コンの出荷量は1.1%増と4ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より8.7%下回り、民間工事向け出荷は7.0%上回りました。セメント出荷量は4.5%減と7ヵ月連続で前年同月を下回りました。



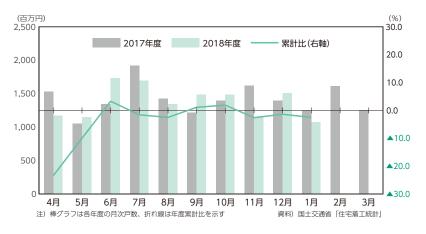
(3) 住宅投資…着工戸数は前年同月を下回る。

新設住宅着工戸数は、全体で前年 同月比14.2%減の1,070戸と2ヵ月 ぶりに前年同月を下回りました。利 用別戸数をみると、「持家(同1.8% 増)」は前年同月を上回り、ウェイ トの高い「貸家 (同10.6%減)」 のほか、「給与住宅(同66.7%減)」 や「分譲住宅(同38.8%減)」は下 回りました。



【参考】住宅投資(年度累計)…1月までの着工戸数は前年同期を下回る。

年度累計でみると、1月までの累計値で2.5%減となっています。

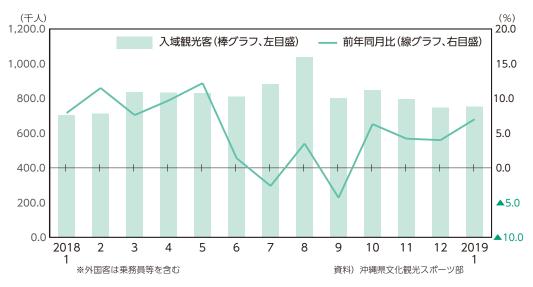




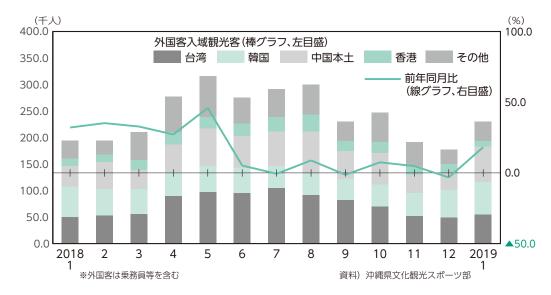


(やや良い)

(1) **入域観光客数 (国内客・外国客の合計)** … 4ヵ月連続で前年同月を上回る。



外国客 入域観光客数…2ヵ月ぶりに前年同月を上回る。



1月の入域観光客数は、49,200人多い753,500人(前年同月比7.0%増)となり、4ヵ月連続で前年同月を上回りました(1月としては過去最高)。

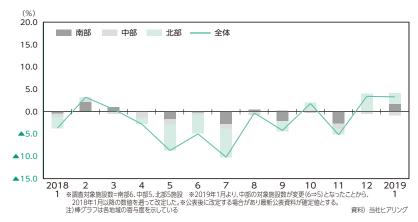
内訳をみると、「国内客(同2.7%増)」は523,700人と、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好だったことや、旅行商品販売の取組強化があったことなどから、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同18.2%増)」は、229,800人と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港が増加したことなどから、前年同月を上回りました。

「台湾(同10.2%増)」「韓国(同6.1%増)」「中国本土(同70.3%増)」「香港(同21.2%減)」 ※乗務員等を除く2019年1月実績=全体726,200人(同6.6%増)、外国客202,500人(同18.4%増)、国内客は変わらない。

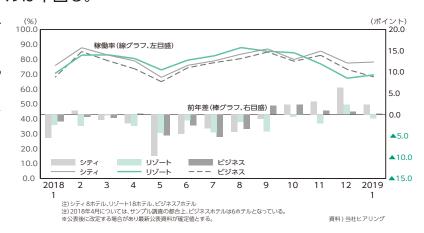
② **観光施設入場者数**…2ヵ月連続で前年同月を上回る。

観光施設入場者数は、全体で前年 同月より3.3%増加(2ヵ月連続) しました。地域別にみると、南部に ある観光施設は同4.1%増と2ヵ月 連続、北部は同5.1%増と2ヵ月連 続で前年同月を上回り、中部は同 6.1%減と3ヵ月連続で前年同月を 下回りました。



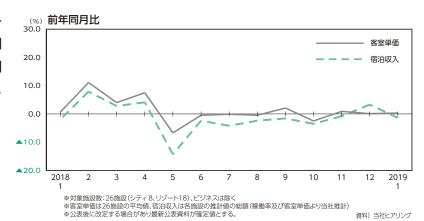
3 ホテル稼働率…シティホテル、ビジネスホテルは前年同月を上回り、リゾートホテルは下回る。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが78.2%と2.4ポイント上昇(4ヵ月連続)、リゾートホテルが69.6%と0.9ポイント減少(2ヵ月ぶり)、ビジネスホテルが68.2%と0.2ポイント上昇(5ヵ月連続)しました。



4 ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入は下回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比0.3%増と前年同月た0.3%増と前年同月を上回りました。宿泊収入は同1.4%減と前年同月を下回りました。





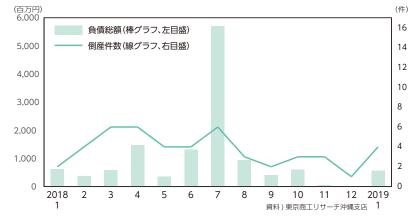
企業倒産



(やや良い)

企業倒産…件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

1月の企業倒産件数は、4件(うち大型倒産は2件)となり、同100.0%増と前年同月を上回りました。負債総額は5億6,000万円となり、前年同月より9.7%減となりました。



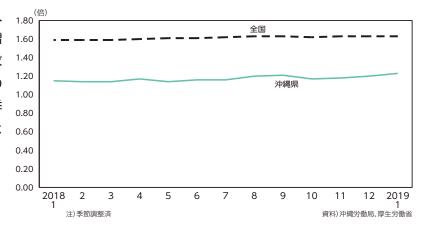
雇用関連



(良い)

有効求人倍率…沖縄は前月より上昇、全国は同水準。

1月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比1.8%増の30,772人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.0%増の25,105人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.23倍となり前月より0.03ポイント上昇しました。



完全失業率…沖縄は前月より低下、全国は上昇。

1月の完全失業率(季節調整値)

は、2.8%となり前月より0.2ポイント低下しました。

